

没後50年記念企画展

川喜田壯太郎

人と作品

2022年11月19日 Sat. ~ 2023年1月22日 Sun.

Sotaro K



六十五歳自画像 1969年頃 油彩 館蔵



岩田橋のたもと 1960年代 油彩 館蔵



ジャワにて 父半泥子(左)、
弟俊二(中央)と 1927年

開館時間/10時~17時(入館は16時30分まで)

休館日/毎週月曜日[但し祝日の場合は翌日]

[1月9日(月・祝)は開館、翌10日(火)は休館]

年末年始[12月29日(木)~1月3日(火)]

入館料/一般500円[400円]・学生300円(中学生以下無料)

※[]内は20名様以上の団体料金

公益財団法人 **石水博物館**

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18

【TEL】059-227-5677 【FAX】059-213-5789

<https://sekisui-museum.or.jp/>



主催:石水博物館 特別協力:株式会社百五銀行

没後50年記念企画展

川喜田壮太郎

人と作品

川喜田壮太郎（1904～1972）は、津市の旧家川喜田家の17代目として生まれ、百五銀行の頭取や当館の前身である財団法人石水会館の理事長などを務めた一方、映画、洋画、陶芸、登山など様々な趣味を極めました。

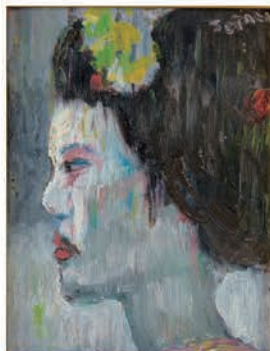
日本銀行勤務を経て戦中に百五銀行へ入行、戦後の動乱のなか第9代頭取に就任すると、昭和25～46年（1950～1971）の在任中、経済復興期における百五銀行の業容拡大と、地域経済の発展のため尽力しました。

また昭和47年（1972）、千歳文庫と川喜田家伝来の美術品や古文書など約3万点を石水会館に寄贈しました。この時の寄贈資料が、当館コレクションの礎になっています。

本展では、壮太郎の没後50年を記念し、様々な芸術分野の遺作と大量に遺された文章からその事績を顕彰し、父半泥子と同様、財界人でありながら多彩な趣味に生きた、彩り豊かな生涯を紹介します。



ロクロ場 油彩 1970年 館蔵



京の舞妓 油彩 1961年 館蔵



波切の魚市場 油彩 1965年 館蔵



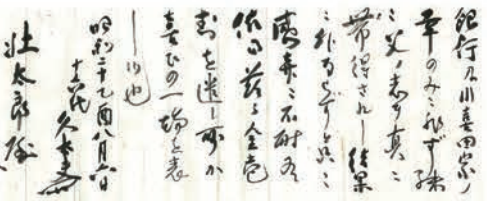
百五銀行マッチ箱 壮太郎デザイン 館蔵



鳥絵皿 1964年 廣永窯 館蔵



ニューオーリンズの夜 油彩 1967年 百五銀行蔵



感喜状 半泥子筆 紙本墨書 1945年 館蔵



竹茶杓 銘 天下茶屋 壮太郎作・半泥子筒 1941年 館蔵



百五銀行頭取時代の 壮太郎

※作者の表記のない作品は川喜田壮太郎作です。

ギャラリートーク 担当学芸員が展示室にて展覧会をご案内します。

日時：11月23日（水・祝）、12月4日（日）、12月17日（土）、1月4日（水）、1月15日（日） 各日14時より30分程度

※申し込みは不要。当日14時までに石水博物館受付前へお越しください。 ※参加費は無料ですが、当日の入館料が必要です。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、チラシの掲載内容に変更が生じる場合があります。当館ホームページまたは電話にて、最新の情報をご確認ください。また、ご来館の際には、感染症予防対策にご協力ください。

次回展覧会

生誕200年記念企画展

《川喜田石水—この商人、何者！？—》

会期：2023年1月28日（土）～4月2日（日）

展示替休館

2023年1月23日（月）～27日（金）



交通アクセス

- JR・近鉄津駅東口より三重交通バス（久居駅方面行）にて約15分、「青谷口」下車徒歩約8分
- 近鉄久居駅西口より三重交通バス（津駅方面行）にて約10分、「青谷口」下車徒歩約8分
- JR阿漕駅より徒歩約12分
- お車をご利用の方
[津市街から] 国道23号線「大倉」交差点を東道776号線（久居方面）へ。JRの踏切を越え、約200m先岩田池手前の細い道（角に看板あり）を左折、約300m先左側。（駐車場15台）

公益財団法人 石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18
【TEL】059-227-5677 【FAX】059-213-5789
<https://sekisui-museum.or.jp/>

第1展示室

没後50年記念企画展

川喜田壮太郎一人と作品

令和4年11月19日～令和5年1月22日

出品目録

I. 半泥子の子に生まれて―若き日の壮太郎―

番号	作品名	作者など	年代・素材など	備考
1	写真(幼少期の壮太郎)	川喜田半泥子撮影	明治38年(1905)頃・ガラス乾板	
2	洋行赤毛布雛之図	川喜田半泥子筆・自賛	大正12年(1923)・紙本墨画淡彩	
3	『欧米漫遊赤毛布』	川喜田半泥子筆	大正12年(1923)・紙本、万年筆	
4	ローマでの記念写真		大正12年(1923)撮影	
5	テームズ河畔	栗原忠二	大正時代・油彩、キャンバス	
6	『よろこびのつきひ』	川喜田壮太郎著	大正12年(1923)刊・ちとせ文庫蔵板	
7	舞台装置スケッチ	川喜田壮太郎筆	大正13年(1924)・水彩、紙	
8	『戯曲集 まぼろし』	川喜田壮太郎著	大正10年代刊	
9	『戯曲集 無言劇』	川喜田壮太郎著	大正13年(1924)刊	
10	映画雑誌への寄稿スクラップ	川喜田壮太郎作	昭和8年(1933)～10年代	
11	壮太郎成年の式 式辞	川喜田半泥子筆	大正13年(1924)12月25日付 ・紙本墨書	
12	番町の庭	川喜田壮太郎	昭和初期・油彩、キャンバス	
13	竹茶杓 銘 天下茶屋	川喜田壮太郎作・ 半泥子銘	昭和16年(1941)・竹	
14	黒筒茶碗 銘 大黒柱	川喜田壮太郎作・ 半泥子銘	昭和18年(1943)・千歳山窯	
15	緑のちとせ山	川喜田壮太郎	昭和30～40年代・油彩、キャンバス	
16	父の像	川喜田壮太郎	昭和18年(1943)・油彩、板	

II. 銀行家として―三重を愛し百五を愛す―

番号	作品名	作者など	年代・素材など	備考
1	感喜状	川喜田半泥子筆・ 壮太郎宛	昭和20年(1945)8月6日付・紙本墨書	
2	丸之内の面影(戦後の石水会館)	川喜田壮太郎	昭和20年代・油彩、板	
3	志摩渡鹿野にて	川喜田壮太郎	昭和22年(1947)・油彩、板	
4	壮太郎日記	川喜田壮太郎筆	昭和19～20年(1944～45)・紙本墨書	

番号	作品名	作者など	年代・素材など	備考
5	『百五銀行創業七十五周年記念』	百五銀行発行	昭和29年(1954)3月刊	百五銀行蔵
6	紀州の漁村 輪内湾古江の町	川喜田壮太郎	昭和37年(1962)・油彩、キャンバス	
7	波切の魚市場	川喜田壮太郎	昭和40年(1965)・油彩、キャンバス	
8	岩田橋のたもと	川喜田壮太郎	昭和40年(1965)頃・油彩、キャンバス	
9	百五銀行新本店の十階から	川喜田壮太郎	昭和43年(1968)・油彩、キャンバス	
10	ポータブルタイプライター	Remington Rand社製	1920～30年代・川喜田壮太郎使用	百五銀行蔵
11	手回し機械式計算機	オドナー型	川喜田壮太郎使用	百五銀行蔵
12	百五銀行新本店のアルバム		昭和43年(1968)撮影	百五銀行蔵
13	『新本店のしおり』	百五銀行発行	昭和43年(1968)刊	百五銀行蔵
14	百五銀行サービス品	川喜田壮太郎デザイン	昭和30～40年代	
15	『紙つぶて』	川喜田壮太郎著	昭和42年(1967)刊	
16	『随想』	川喜田壮太郎著	昭和44年(1969)刊	
17	『芸林』	百五銀行行友会文化部発行	昭和28～46年(1953～71)刊	
18	『行報』	百五銀行行報編集係発行	昭和46～47年(1971～72)刊	
19	波切灯台	川喜田壮太郎	昭和46年(1971)頃・油彩、キャンバス	

Ⅲ. 趣味とともに生きる一山を愛し旅を愛すー

番号	作品名	作者など	年代・素材など	備考
1	『じゃわさらさ』	川喜田壮太郎編	昭和3年(1928)刊・千歳文庫蔵版	
2	『じゃわさらさ』(再刊)	無茶法師著	昭和11年(1936)刊・学芸書院発行	
3	ジャバトサリにて	川喜田壮太郎	昭和2年(1927)・パステル、紙	
4	壮太郎日記	川喜田壮太郎筆	昭和10～40年代・紙本墨画淡彩	
5	冬の上山温泉	川喜田壮太郎	昭和18年(1943)・油彩、板	
6	冬の大門口	川喜田壮太郎	昭和19年(1944)・油彩、キャンバス	
7	『南洋の旅』	川喜田壮太郎著	昭和15年(1940)刊	
8	南洋の家風飾り棚	川喜田壮太郎作	昭和10年代・木製	
9	土産物	川喜田壮太郎蒐集		
10	『ソ連とイランの画信』	川喜田壮太郎著	昭和40年(1965)刊	
11	テヘランのホテルより	川喜田壮太郎	昭和39年(1964)・油彩、キャンバス	
12	マニラの夜	川喜田壮太郎	昭和37年(1962)・油彩、キャンバス	百五銀行蔵
13	ニューデリーの印象	川喜田壮太郎	昭和38年(1963)・油彩、キャンバス	百五銀行蔵
14	ニューオーリンズの夜	川喜田壮太郎	昭和42年(1967)・油彩、キャンバス	百五銀行蔵
15	シドニー湾	川喜田壮太郎	昭和43年(1968)・油彩、キャンバス	百五銀行蔵
16	窯場	川喜田壮太郎	昭和40年代・油彩、キャンバス	
17	ろくろ場	川喜田壮太郎	昭和40年代・油彩、キャンバス	

番号	作品名	作者など	年代・素材など	備考
18	鳥絵皿	川喜田壮太郎作	昭和40年代・廣永窯	
19	九谷焼茶碗 銘 薄雪草	川喜田壮太郎作	昭和37年(1962)・石川県九谷の窯	
20	赤絵ライオン絵皿	川喜田壮太郎作	昭和40年代・廣永窯、5客のうち	個人蔵
21	灰釉茶碗 銘 若布袋	川喜田壮太郎作 半泥子銘	昭和10年代・千歳山窯	
22	東京タワー	川喜田壮太郎	昭和46年(1971)・油彩、キャンバス	
23	京の舞妓	川喜田壮太郎	昭和36年(1961)・油彩、キャンバス	
24	六十五歳自画像	川喜田壮太郎	昭和44年(1969)頃・油彩、キャンバス	

※「備考」欄に所蔵先が示されていない作品以外は、全て館蔵

第2展示室

所蔵品展

川喜田半泥子の作品と季節の館蔵品

令和4年11月19日～令和5年1月22日

(前期＝11月19日～12月28日・後期：1月4日～1月22日)

出品目録

番号	作品名	作者など	窯・年代・素材など	備考
1	粉引茶碗 銘 たつた川	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
2	灰釉茶碗 銘 由布	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
3	家形香合 銘 番町の家	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
4	黒筒茶碗 銘 すず虫	川喜田半泥子作	昭和10～20年代	寄託作品
5	秋茄子図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩・昭和20年代	
6	砥部茶碗 銘 白芙蓉	川喜田半泥子作	愛媛県砥部の窯・昭和28年(1953)	寄託作品
7	井戸手茶碗 銘 寿山	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和16年(1941)	
8	寒牡丹図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩・昭和16年(1941)	
9	高麗手茶碗 銘 雅茶子	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
10	志野茶碗 銘 おらが秋	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
11	千歳山真景図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩・昭和10年代	寄託作品
12	片身替茶碗 銘 寝物語	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
13	志野茶碗 銘 あつ氷	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
14	小鳥図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩・昭和16年(1941)	
15	粉引茶碗 銘 雪の曙	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
16	織部黒茶碗 銘 暗香	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	藤田コ
17	伊賀水指 銘 慾袋	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和15年(1940)	
18	唐津風茶碗	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年(1935)	新収蔵
19	灰釉茶碗 銘 喜び	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和29年(1954)	新収蔵

番号	作品名	作者など	窯・年代・素材など	備考
20	柿図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩・昭和20年代	前期
21	書「寿」	川喜田半泥子筆	紙本墨書・昭和35年(1960)頃	新収蔵・後期
22	唐津手茶碗 銘 福わらひ	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
23	灰釉茶碗 銘 どん栗	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	寄託作品
24	灰釉茶碗 銘 園城寺	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	藤田コ
25	灰釉茶碗 銘 寒鴉	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和15年(1940)頃	
26	栗図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩・昭和20年代	藤田コ・前期
27	書「一湾の～」	川喜田半泥子筆	紙本墨書・昭和35年(1960)頃	新収蔵・後期
28	割高台茶碗 銘 浮寝鳥	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和24年(1949)	
29	焼締茶碗 銘 さび柿	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
30	志野茶碗 銘 不動	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
31	黒織部茶碗 銘 富貴	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和15年(1940)頃	寄託作品
32	茸図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩・昭和20年代	寄託作品・前期
33	注連縄図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩・昭和20年代	新収蔵・後期
34	黒茶碗 銘 無茶太郎	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和15年(1940)頃	
35	赤楽大茶碗 銘 閑く恋慕	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
36	赤絵紅葉絵水指	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
37	灰釉縮れ水指	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和23年(1948)	寄託作品
38	枯木に小鳥図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩・昭和20年代	新収蔵・前期
39	松と梅図	川喜田半泥子筆	紙本墨画淡彩・昭和10年代	後期
40	灰釉縮れ砂金袋水指 銘 若水	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和24年(1949)	
41	つぶれ壺 銘 ふくら雀	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	

茶席「山里」内

番号	作品名	作者など	窯・年代・素材など	備考
42	虎図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩・昭和32年(1957)頃	前期
43	兎玩具図	川喜田半泥子筆	紙本墨画淡彩・昭和26年(1951)	後期
44	伊賀水指	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	

※展示作品、展示期間が変更になる場合があります。

※藤田コ＝藤田等風コレクション